

原

三〇八七

二九二
一三〇

盆踊禁止に對し青年暴行、件報告

本月十七日縣下東牟婁郡北山村、於テ盆踊制止、爲
 巡查檢劍レテ人民、負傷セシメタル云々縣下各新聞紙、記
 載有之候處事實ハ本月十七日北山村大沼青年等ハ兩
 乞踊ト稱シ盆踊ヲ爲サレトシ一面同地屋長、一面駐在巡查
 之カ黙許ヲ請ヒタルモ巡查、断然之ヲ卻テ區長モ亦其ノ不
 可ナルヲ論シタリ然ルモ青年ハ之、服セスレテ踊ヲ開始セルヨリ巡
 査、現場ニ出張シ穩ニ其ノ不都合ヲ諭シ中止セシメタルモ多衆
 ハ種種口實、下、其、場、止リ容易、解散セザリシモ其、内
 ハ年長者等ハ今後決シテ斯ル不都合ヲサレノサルヘキヲ誓ヒタル
 ヲ以テ一時其、場ヲ引揚ケタルモ年前一時頃、至リ又又同一場所
 於テ踊ヲ開始セルヲ以テ巡查、再ニ現場ニ至リ中止解散ヲ命シタ

3405



ハ一瞬其ノ命、經ニ中止シタルモ、巡查ヲ圍繞シテ種種要罵ヲ加ヘ、頻ニ投石シ又背後ヨリ帽及佩劍ヲ奪ハントスル杯形勢甚ク危險ニ迫リシカ爲、巡查ハ投劍シ之ヲ制シタルモ、其ノ勢ハ解易シ群衆ハ、巡查ノ身邊ヲ退散シタルヲ以テ、巡查ハ直ニ劍ヲ收メタリ然レモ此ノ騷擾中常ニ青年ヲ制止シ巡查ヲ庇護シ投石乱下ノ際、洋傘ヲ騎シテ巡查ヲ掩護セシ久保庚七及青年、鎮撫カシタリタル中、石第一、兩名ハ眉間、各長一寸深骨膜、達スル創傷ヲ被リ一瞬其ノ場ニ昏倒シ巡查モ亦二三箇所、打撲傷ヲ受ケタルモ、疾病休業ニ至ラサル程度ニ有之候、右久保中石、創傷、醫師、診断、依ルモ木片又ハ角石ニ因リ裂創シテ及物ヲ以テシタル創傷、アヲサルト、證明セラレ又被害者ニ於テモ、巡查被劍、際之、觸レ、目傷シタルモノ、ニアラスシテ、何物カ前方ヨリ飛ビ來リ、命中シタル旨申立、姑リ全ク暴行青年、投石、因リ、目傷セルコト明白、有之候、夙村所

詔新官警務寮署ヨリ十三日餘リ隔ル山間、鮮村ニシテ十八日午後七時、至リ暴行事件、電報、接シ新官警務寮署ヨリ署警務部出張又新官區裁判所檢事ハ、事警務寮官ニ屬スルヲ以テ慎重ナク取調ヲ要スヘキヲ認メ、本月二十二日當地ニ出張取調ノ願末以上ノ通、有之候條、此版及報告候也

大正二年八月二十八日

本縣山縣知事

川村竹治



内務大臣 原

取般